

H30 都立府中東高校 BOXING部

●第7回 関東高等学校ボクシング選抜大会 ●第5回 関東高等学校女子ボクシング選抜大会 結果報告

会場：群馬県 ALSOKぐんま総合スポーツセンター

日程：平成 31年 1月 25日～ 27日

男子出場選手：W級A 天野亮太(2年)、M級A 芦川樹(1年)、LH級 山口生(1年)

女子出場選手：B級 田辺未樹(2年)、F e級 星野佳亜奈(1年)

25日：監督会議での抽選の結果、全員試合がありませんでした。

26日：W級A 天野 亮太(2年)

準決勝 対 松永 敦朗(千葉県習志野高校) WP 負 0-5 第3位

1R半ばにももらった松永選手の右が勝敗を分けました。これを境に2R最後まで積極的に攻めることができず、攻めるところはあるが単発・単調な攻めとなってしまう、最終Rは倒さなければ勝てない、という状況に。3Rはある程度攻めましたが1、2Rを取られていたので負けとなりました。試合後のミーティングで『1Rにももらった右で、もらいたくないと考え、攻められませんでした。』とは本人談。この気持ちが積極性を奪ったのは事実。ここで「もらわないように注意しながら攻める」という選択をし、実践できたのが千梨菜です。天野にはセンスがあります。『千梨菜に続き6月の関東に出場しチャンピオンになる』これを目先の目標とし、メンタルを磨けば、天野なら達成できると思います。

天野に勝利した松永選手(習志野高校)はこの関東選抜大会で優勝し、3月に開催される全国選抜大会に出場します。松永選手、優勝目指し頑張ってください！

27日：M級A 芦川 樹(1年)

決勝 対 齋藤 夢胤(栃木県作新学院高校) 芦川体調不良により欠場敗退 第2位

齋藤選手(作新学院高校)は3月に開催される全国選抜大会に出場します。齋藤選手、試合の準備をしていたのに芦川の欠場、大変申し訳ありません。優勝目指し頑張ってください！

B級 田辺 未樹(2年)

決勝 対 大島 楓子(群馬県伊勢崎工業高校) WP 負 0-5 第2位

今までで一番勝ちたいという気持ちがリング上で出た試合でした。全日本女子選手権に出場しているだけあって、経験は相手の方が上。1R目のファーストパンチで田辺のアゴが上がりました。しかしそこで下がることもなく、終始手を出して攻めました。ポイントは大島選手の方が取ってはいましたが、それほど差が開いていた展開ではありませんでした。2Rも同じようにポイントをとられていましたが、3R目は5人のジャッジ全員が田辺にポイントを付け、28-29が5人。今回の敗戦ではスタミナが足りず、しっかりと攻め切ることができませんでした。攻防の技術ももっとも身につけたい、と思ったはずですが。今回の悔しさと勝ちたい気持ちを前面に出し、最終Rのポイントを奪い取ったメンタルを次戦に活かせば、今後の勝利・活躍を十分に期待できると確信した一戦でした。頑張りました。

他 LH級 山口生(1年)は他県に出場選手がおらず認定で第1位

F e級 星野佳亜奈(1年)はエントリー選手の点呼時欠場により認定で第1位



今回の結果、大変ふがいない結果となりました。勝った選手が一人もいません！

全国で活躍した千梨菜が12月に引退し、千梨菜がいなくなったら勝てなくなった、と他県の先生方に言われても仕方ありません。この結果を千梨菜と共に汗を流し、今まで引張ってもらっていた部員たちがどのように考えるのか。千梨菜は本校でキャリアをスタートした選手で、全国で活躍する選手になりました。今大会に出場した部員もいなかった部員も千梨菜も同じです。本校でキャリアをスタートしても、努力次第では全国で活躍できる、と千梨菜が証明してくれたのです。

今回の敗戦での入賞を自分の中にどのように位置づけるのか、これからどのような明確な目標を持ち、どのような気持ちで練習に取り組むのか、どのように今後活かすのか、を大会最終日会場でミーティングで話しました。もちろん敗戦は部員だけの問題ではありません。我々指導陣としても悔しい結果です。泊まり込みで応援に駆け付けてくれた千梨菜に申し訳ないという気持ちもあります。今回の敗戦を指導者として重く受け止め、「選手を勝たせる指導、練習」を目指したいと思います。これからも都立府中東ボクシング部の応援をよろしくお願いたします。

忙しい中、応援に駆け付けてくれた千梨菜、ありがとう！